

# 稲毛区における子育て支援・こども活動への 新型コロナ流行の影響に関するアンケート 集計（速報）

いなげ子育てフォーラム  
2020年9月30日

## 調査概要

- ◆ 実施主体：稲毛・こどものWAねっとわーく
- ◆ 調査期間：2020年9月11日～9月23日
- ◆ 調査対象：『おたからぽけっと』掲載団体のほか、稲毛区内で取り組まれている  
子育て支援・こども活動
- ◆ 回答数：40活動

### 新型コロナ流行への対応

	活動数	パーセント
1. 新型コロナの流行前からの活動を続けた（対象や実施方法等を変更したものを含む）	9	22.5
2. 新型コロナの流行前からの活動を続けながら（対象や実施方法等を変更したものを含む）、新型コロナの流行をきっかけに別の活動も始めた。	1	2.5
3. 新型コロナの流行前からの活動は休止して、新型コロナの流行をきっかけに別の活動を始めた	1	2.5
4. 新型コロナの流行前からの活動を休止した	29	72.5
合計	40	100.0

### 新型コロナ流行後の対象者の変化（複数回答、11活動）

	活動数	パーセント
変化なし	4	36.4
縮小した	5	45.5
拡大した	2	5.0
別の対象とした	1	9.1

### 利用者・参加者の人数

	活動数	パーセント
1 新型コロナの流行前の半分に減少した	1	11.1
2 新型コロナの流行前より減少した	6	66.7
3 新型コロナの流行前とほとんど変わらない・まったく変わらない	2	22.2
合計	9	100.0

### 新型コロナ流行後のプログラム変更の有無

	活動数	パーセント
なし	2	20.0
あり	8	80.0
合計	10	100.0

#### 【新型コロナ流行後の対象者の変化：縮小した】

- オンライン開催のため、フォローできる人数を考えて、対面の育児サロンよりも定員を少なくした。
- ソーシャルディスタンスを保てる人数に制限をした。
- 休会の判断を家庭に任せ、休会の場合も休会費無しとした。
- 募集人数を減らした。会場を変更。
- 毎日通う利用は受け入れを継続して、スポット的な利用者について、新規の受け入れを停止した。

#### 【新型コロナ流行後の対象者の変化：拡大した】

- 公民館から第一会議室も利用可能となり、第一・第二・第三会議室の利用とした。
- 対面のみでなくオンラインのレッスンも始めたため、対象の親子が全国となった。

#### 【新型コロナ流行後の対象者の変化：別の対象とした】

- オンラインのため、対面では参加できなかった遠方にすむ乳幼児と保護者の参加も可能となった。

#### 【新型コロナ流行後のプログラム変更の例】

- 開館時間の変更 ・ランチタイム中止 ・12:00～13:30を消毒など衛生管理の時間として閉館 ・定員4組 ・1組の利用時間1時間以内
- 会場を変更（小中台地域福祉交流館が借りられず、穴川コミュニティセンター及びその隣の穴川中央公園で）。
- 完全予約制にした。
- オンラインで会議をした。
- オンラインと対面双方同時対応（緊急事態宣言後のことを考えて当初から取り組んだ）。
- 育児サロンはオンラインでの開催のため、ハーブティー提供や、資料の配布ができないので、開催日調理はスタッフのみ ビュッフェ形式から持ち帰り用に変更。
- 班ごとに向き合って食べていたごはんやおやつなどは、向き合わないよう1列で食べたり、複数人で1つの机を囲まないようにしたりしました。
- おもちゃ等は出さない。終了後の飲み物の提供もない。

## 新型コロナ感染対策

①新型コロナ流行期間（10活動） ②現在（30活動）

	①	②
1 会場の入り口等で検温した	40.0	45.0
2 会場の入り口等で手などの消毒をした	70.0	90.0
3 感染が発生した場合に備えて、利用者・参加者の連絡先を把握した	70.0	80.0
4 利用者・参加者に、当日の健康状態を記入したシートを提出してもらった	30.0	40.0
5 会場でのマスクの着用を求めた	80.0	90.0
6 会場内の人が密にならないようにした	70.0	80.0
7 会場の換気に気をつけた	90.0	95.0
8 会場や用具の消毒を行った	80.0	80.0
9 会場での飲食を休止・制限したり、飲食の仕方について指示したりした	60.0	65.0
10 その他	20.0	25.0
11 感染対策は実施しなかった	0.0	0.0

#### 【新型コロナ感染対策（流行期）】密対策

- オンラインと会場対面と分散。
- ボードゲームやトランプなど、向かい合って遊ぶような遊びは、間に机などを挟むなど、少しでも距離を保つようにした。
- 椅子を使うイベント等は準備段階で 2m 間隔をとるなど、ソーシャルディスタンスを保つ工夫をした。
- 室内の机と椅子の設置数を減らした。室内の人数が増えてきたら、二階や外の公園に分散させた。スタッフの人数を減らした。
- 大きな会場を借りた(定員の 50%)。
- 定員を 4 組とした。

#### 【新型コロナ感染対策（流行期）】飲食の休止・制限など

- もともとすべて禁止でやむ終えずのみだったが、コロナの為全面禁止。
- ランチタイムの中止。
- 向かい合って食べるのではなく、横 1 列で食べました。
- 事前告知はできなかったので、当日、コロナ対策であること、感染予防のために気を付けることを説明した。
- 自分で持ってくる。水分補給のみ。

#### 【新型コロナ感染対策（流行期）】その他

- 心のケア（ママたちの要望に合わせて、オンライン、個別対面、電話などで傾聴した）。

### 【新型コロナ感染対策（現在）】密対策

- オンラインと併用し、対面の人数を減らす、新規募集をしない。
- スペースを拡大、倍程度にした。
- 以前より広い会場を利用する。
- 援助職向けの勉強会は席を2メートル離す。
- 会場に広い部屋を借りている(定員の50%)。
- 会場の定員(いまのところ通常の50%)を守り、離れて座るよう、運営側で事前に周知する。座席の指定をするなど。
- 各自健康状態に注意して参加・不参加の判断をしている。
- 机の配置を変え、距離をおいている。
- 机や椅子、スタッフの配置に余裕を持たせ、室内の人数が増えてきたら二階や外の公園に分散するよう声かけをする。
- 距離をとり座る。
- 参加者数を少なくする、つねに広がって活動する、他の家族・スタッフと接近しすぎないように促す。
- 実態として密になる参加者数ではないが人の間隔を開けるようにしている。
- 定員を4組とした。
- 主な会場の公民館の定員数を守る。事前申し込みのものもあるが、出入り自由な企画を維持するために当日受付で調整する。会場では机や椅子の間隔をあけて設置したり、座布団を置いたりする。

### 【新型コロナ感染対策（現在）】飲食の休止・制限など

- 6月～8月は時間を短くして活動。公園での活動が可能なときは戸外で活動した。
- もともとNGだが、更に強化。
- ランチタイムの中止。
- 飲食する場合は離れて座る。時間をずらす、なるべく話をしないよう気をつける。
- 飲食は部屋の外でお願いしている。
- 横1列で食べています。
- 荷物置き場を家族ごとに離し、休憩タイムをとる(食べ物はたべない、もともとたべられない場所)
- 会議中は飲食はしていない。各自が飲み物を用意している。
- 会場で食べる人数を調整。食事の直前と食べ終わったらすぐにマスクをつけるよう声かけをしている。
- 企画のお知らせに各自飲み物持参のお願いを記載している。
- 昼食の時間を取っていたが廃止し、熱中症対策として飲み物のみ部屋の外で許可している。

#### 【新型コロナ感染対策（現在）】その他

- 9月から従来の時間にして飲食は各自の判断で自由に参加する形にしている。
- ボールプール、おもちゃ、絵本など貸していたがなしにした。必要があれば持参してもらう。
- 当日、自宅を出る前に検温する。熱がある場合、家族に風邪をひいている人がいるなどの場合は参加できない、というような約束項目を周知しておく。
- オンラインでの活動に切り替えた。会場の予約が取れるようになったら対面での活動に戻す予定。
- オンラインや振替の選択肢で柔軟に。

## 活動にかんする不安・不満

【新型コロナ流行で休止】問19 これまでの活動を休止するうえで、どのようなことが判断材料となりましたか？次の中であてはまるものにすべて○をつけてください。

【現在休止中】問28 活動の再開や、活動を続けるうえで不安なことや問題となっていること（問題となったこと）は何ですか。次の中であてはまるものにすべて○をつけてください。

【現在活動中】問27 活動をしていて不安に思ったり問題となったりしていることは何ですか。次の中であてはまるものにすべて○をつけてください。

	問19 29活動	問28 20活動	問27 19活動
1 利用者・参加者の感染が不安	<b>93.1</b>	<b>81.0</b>	<b>84.2</b>
2 担い手（ボランティア・職員）の感染が不安	<b>75.9</b>	<b>71.4</b>	<b>63.2</b>
3 利用者・参加者の募集が難しい	24.1	28.6	<b>47.4</b>
4 担い手（ボランティア・職員）の募集が難しい	3.4	9.5	0.0
5 新型コロナの流行前と同じようには施設が使えなくなった	<b>65.5</b>	38.1	47.4
6 新型コロナ感染予防をしながら実施できる活動のノウハウやプログラムが不足した	31.1	28.6	15.8
7 活動資金が不足した	0.0	0.0	21.1
8 行政、社協などからの指針がない	10.3	4.8	5.3
9 相談できる相手がいない	0.0	0.0	0.0
10 他の同様の活動が休止している	<b>37.9</b>	9.5	10.5
11 近隣・地域との関係	10.3	14.3	5.3



### 【活動を休止するうえでの判断材料】

- 社協からの実施にあたってのガイドラインに従うと状況的に実施できない。
- 社協から活動休止の要請があった。
- 千葉市社協からの休止要請。
- 稲毛保健福祉センター健康かすこやか親子班からの延期依頼があった。
- 活動に使っている施設が子どもルームとしても使われている部屋があり、特段の配慮が必要と考えた。
- 再開時の印象を良くするため。
- この期間中の開催日は4月だったので緊急事態宣言中の開催はそもそも無理でした。
- 仕事が忙しく、ボランティアを続ける余裕がなくなり、個人での活動は休止しました。

### 【現在休止中の活動の不安・問題】

- コロナに関する正確な情報が欲しい（運営面での正しい知識）。具体的には、①消毒やマスクの着用等の対応した場合の感染率、②もし、ウイルスがおもちゃ等に付着した場合、自然消滅するのか。自然消滅する場合は何日からか？③他の人が利用している物（座布団等）は利用しても大丈夫か？
- 各種団体の統一基準があった方が良いのでは。団体によりおもちゃ利用等の取り扱いが異なると参加者への不信感が生まれるのではないか？
- 感染が確認できた活動やその後の対応について知りたい。又、感染が確認できた場合の相談や支援がどのように進められるのかの情報も知りたい。
- 感染予防のため、オンラインでの事業も進めているが 公共施設に Wi-Fi がないため、事業がやりにくい。
- 広い会場で大勢があつまるときの多くの人が納得できる具体的な感染予防対策。
- 地域交流の活動を実施していく中で、活動に際し人数制限等助言はするが、サークル利用者の皆さんが楽しみにしていて大勢集まってしまう。どこまで協力を促して良いのか？利用場所の広さに対して密にならないの程度、明確なガイドラインも知りたい。
- （私たちが必要としている情報と捉えて良いのでしょうか？）感染症の心配をできる限り少なくするような工夫をして活動を続けたり、再開した団体があれば具体的な活動例を教えてください。
- 活動の場所を交流館以外で考えていないため使える状態になったとき、おやつはだせるのかが考えるところ。
- 参加していた人たちの3月～9月の日々が知りたい（どんな事が困ったか再開した時何がしたいか）絵本の読み聞かせをリモートでできないか。かんたんおやつ作りをリモートでやってみるを考えた。子どもクッキングにも使えないか。
- 活動内容や会場による感染防止対策を提供できる支援があるといい。一つの団体ではできなくても協力したら一緒にできる活動もあるように思うのでそのような支援があるといい。

- 三密を避けたり、玩具、マット等の消毒等開催を再開するには問題が山積している気がします。若いおかあさんたちの交流の場を提供できないことが気になりますが、今後のコロナウィルスの感染状況を見ながら開催に関して判断したいと思います。
- 子育て支援の保育士として今思うことは、子育ての地域の広場に集まり、子どもと親が育ち合う場が安全で安心と思える環境がほしい。コロナの影響で「集まること」が不安であるが、学校や幼稚園などの感染予防にならって少しずつできることがあることを知りたい、又はそれを親子に伝えたいと思う。担い手の思いを吐き出せる場や情報交換できる場。コロナ禍での研修、最新情報（正しい情報）。
- 社会福祉協議会、地区部会からの情報を重視しながら再開に向けて子供達、親御さんとの交流が楽しみです。子供達の成長や近況の話を聞けることがとっても待ちどおしいです。
- 千葉市社協から「地区部会活動再開に向けてのガイドライン」をいただいておりますが、実際当地区部会の子育てサロンの運営を考えた時具体的にどうしたらよいか悩んでいます。より具体的なもの（ガイドライン）が欲しいです。

#### 【現在活動をするうえでの不安・問題】

- ボランティアは高齢者も多いので対応が難しい→本人の自己判断に任せることにした。
- 保健推進員の2ヶ月訪問の際に宣伝してもらっているのですが、これがないので新生児宅へのお知らせが難しい。
- もともと、大人も遊ぼうというのが目的なので、触れ合ったり笑ったりすることが多い。その趣旨から3密になりやすい。活動を広げていくことがむづかしそう。
- 会場問題 現在利用している穴川コミュニティセンターは、借りられる区分が9:00~11:00、11:00~13:00と2時間単位。2区分借りるのはとてもむづかしく、抽選結果は11:00~13:00がほとんどで、活動時間の10:00~12:00には合わないため、前半を外の公園にし、11:00から穴川コミュニティセンターに移動して行うなど、工夫している。今は、まだ寒くないので外の公園で行えるが、これから寒い時期になると外の公園で活動するのは寒く厳しい。また、天気の良い日は外の公園で活動できないので、10:00から屋内で続けて2時間活動できる会場がほしい。
- 活動資金は利用者に負担にならないように考え、かなりサービスして、担い手はボランティアの状態、少しでも利用者の為になればとの思いで活動している
- 個人での育児サークルの実施は、万が一感染が起きた場合、保険などもないので責任が取れないと感じ、不安なのでおそらく1年程度は対面実施ができない状態が続くのではないかと思う。
- 体験学習ができないこと。公共機関にWi-Fiがないためオンライン事業がやりにくい。
- 募集の新たな仕組み。

## 新型コロナ流行前の活動の現在

	活動数	パーセント
1 ずっと、活動している	6	15.0
2 新型コロナ流行期間は休止したが、現在は再開している	14	35.0
3 新型コロナ流行に伴い休止し、現在も再開していない	19	47.5
4 新型コロナ流行をきっかけに活動をやめることにした	1	2.5
合計	40	100.0

## 新型コロナ流行前と現在の対象者

	活動数	パーセント
1 新型コロナの流行前と同じ	11	55.0
2 新型コロナの流行前と比べると、対象者が縮小した ※	8	40.0
3 新型コロナの流行前と比べると、対象者が拡大した ※	1	5.0
合計	20	100.0

**【新型コロナ流行前より活動者が縮小】**

- 育児サークルに関しては、対面での実施は自信がなく、現在もオンラインで行なっている。
- 感染の可能性をみなさん考えているためか会員人数は減少しました。
- 参加する権利があっても、参加を見合わせる会員がいる。
- 対面の募集をしづらい。
- 新規募集ができなかったため、施設の利用人数に制限があるため。
- 参加者の地域を限定した。

**【新型コロナ流行前より活動者が拡大】**

- オンラインで開催したところ、参加者が増えた。